小学校実践

期間中どのくらいの来場者数になるか予想しよう！

算数 5年

吉良正幸　大分市鶴崎小中学校教諭

1．新聞活用のねらい

・身近にある実際の入場者数から、新聞にある情報に興味・関心をもたせる。
・実際の数値から、算数の場面は生活に活用されることを体感させる。
・新聞記事と広告の両方から情報を活用し、結びつけて考えさせる。

2．指導計画

・同じ数（１万人）の入場者数ではあるが、１日の入場者数は同じなのか考えさせることで、データだけでは見えにくいものがあることを理解することができる。
・「平均」の考え方を使って、期間中の入場者数を計算で予想し、比較することができる。

3．おもな学習活動（１時間）

おもな学習活動	ねらい
①新聞記事を読ませ、自由に意見を交わす。 例）「日展」って何かな？ サーカスってどんなことをするのかな？	①新聞記事より、内容を理解する。
②「日展」と「サーカス」の入場者数が７月30日に同時に１万人来場したことを確認し、「１日の入場者数は同じなのか」を問い、どちらの方が１日の入場者数が多いかを考えるよう示唆する。	②１日の入場者数を考える。
③何の情報があるとわかるのか（何日間開催している）を考える。そして、開催日程が表されている広告から日数を割り出す。 日　　展（20日間）　＊毎週月曜休館 サーカス（12日間）　＊毎週水曜休演	③この日まで何日間開催されているかを知る。
④１日の入場者数を「平均」で計算することができる。 日　　展　10,000÷20＝500人 サーカス　10,000÷12＝833.3…人	④１日の平均入場者数を出す。
⑤「期間中どのくらいの来場者数があるのか」を考え、平均を活用し、期間中の日数を調べ、およその計算をする。 日展期間日数…28日間　　日　展　500×28＝14,000人 サーカス…46日間　　サーカス　833×46＝38,318人	⑤このペースでいくと日展・サーカスともに期間中どのくらいの人が来場するのかを予想する。
⑥どのようなことが言えるか発表する。 ・サーカスは１日２～３回公演。30日までの延べ公演回数は29回。１公演あたりの入場者数は、10,000人÷29＝344人になるなど。	⑥調べたことからわかることを発表しまとめる。

4．評価の観点

・平均の考えで１日の入場者数を比べることができたか。
・期間中の予想来客数を求めることができたか。

2010年（平成22年）6月29日　火曜日　朝刊（広告）

2010年（平成22年）7月31日　土曜日　朝刊

ドリームサーカス　1万人を突破　日展

大分合同新聞創刊4万号・エフエム大分開局20周年記念「ドリームサーカス大分公演」の来場者が30日、1万人を突破した。

1万人目は大分市にじが丘の主婦江藤佐知子さん（42）。次女の百合香さん（12）＝西の台小6年＝と2人で来場した。「夏休みのレジャーを近場で楽しみたい」と足を運んだ2人に記念品と花束が贈呈された。

31日と8月中の金、土曜日、お盆期間中（12、15日含む）は午後6時半開始のナイト公演があり、先着20人にソフトドリンクのプレゼントがある。

× × ×

大分市の県立芸術会館で開催中の「第41回日展 大分巡回展」（大分合同新聞主催）の入場者が30日、1万人に達した。

1万人目となった臼杵市浜の会社員斎藤初美さん（43）と長女の綾乃さん（15）＝臼杵高1年、次男の将太君（8）＝臼杵小2年＝に、同館の深町哲一郎副館長と大分合同新聞の佐藤政昭事業局長が記念品を贈った。

洋画を見た綾乃さんは「女性を描いた作品は明が透き通るよう」と驚いていた。

同展は8月8日まで。観覧料は一般1200円、高大生千円。小中学生は無料。

記念すべき1万人目の入場を喜ぶ江藤佐知子さん（右）と百合香さん＝30日、大分スポーツ公園H駐車場

1万人目の入場者となり笑顔の斎藤初美さん（右）、綾乃さん（左）、将太君の親子＝30日、県立芸術会館

2010年（平成22年）7月16日　金曜日　朝刊（広告）